

1 平成 30 年度の取組状況

(1) 平成 30 年度事務事業評価の結果まとめ

平成 30 年度事務事業評価は、財務会計システムとの連携による行政評価システムでの運用を行いました。事業単位を予算事業単位と一致させ 479 業に再編成しました。事業評価としては、法定受託事務や実施計画により判断されるハード、ソフト事業、事業完了期限が設定されている事業等を評価対象から除き、191 事業に絞って実施しました。評価結果については、以下のとおりです。

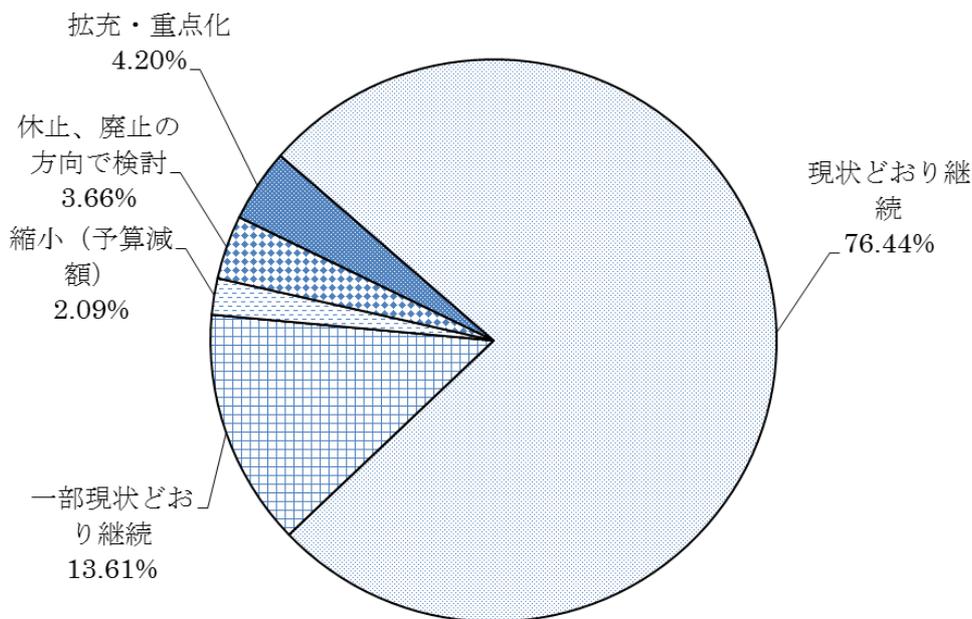
《1 次～3 次評価結果》

番号	平成 31 年度方針	1 次評価	番号	平成 31 年度方針	2 次評価	3 次評価	構成比率
1	拡充・重点化	14	1-1	拡充・重点化（予算増額・増員）・実施方法の見直し	1	1	0.52%
			1-2	拡充・重点化（予算増額）・実施方法の見直し	5	6	3.14%
			1-3	拡充・重点化（増員）・実施方法の見直し	4	1	0.52%
2	現状どおり継続	150	2	現状どおり継続（予算・人員、実施方法とも現状通り）	147	146	76.44%
3	一部現状どおり継続	18	3	一部現状どおり継続（予算・人員とも現状維持で実施方法のみ見直し）	24	26	13.61%
4	縮小	2	4-1	縮小（予算減額・減員）・実施方法の見直し	0	0	0.00%
			4-2	縮小（予算減額）・実施方法の見直し	3	4	2.09%
			4-3	縮小（減員）・実施方法の見直し	0	0	0.00%
5	他の事業との整理・統合	2	5	他の事業との整理・統合	0	0	0.00%
6	休止、廃止の方向で検討	4	6	休止、廃止の方向で検討	7	7	3.66%
7	休止、廃止、完了（H29 年度）	1	7	休止、廃止、完了（H29 年度）	0	0	0.00%
8	休止、廃止、完了（H30 年度）	0	8	休止、廃止、完了（H30 年度）	0	0	0.00%
	方針なし			方針なし			
合 計		191	合 計		191	191	100.00%

※単位未満は四捨五入しているため、合計と各項目の和が一致しない場合があります。

1次評価の結果は、全体の78.53%が「現状どおり継続」、9.42%が「一部現状どおり継続」、
「拡充・重点化」が7.33%と続いています。昨年度に引き続き、2次評価を各所管部長が行う
こととし、事務事業の更なる見直しを行いました。2次評価を経た3次評価結果は、「現状ど
おり継続」が76.44%、「一部現状どおり継続」が13.61%となり、合わせて全体の90.05%を占
め、「拡充・重点化」は4.20%となっています。

「縮小」、「休止・廃止の方向で検討」は、11事務事業あり、全体の5.75%となりました。
縮小や廃止検討等11事業は以下のとおりです。



H31 年度方針	事務事業名
縮小（予算減額）・実施方法の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センター連携事業【いきいき長寿課】 ・その他商工振興業務【シティセールス推進課】 ・下水道事業総務業務【下水道課】 ・自主防災組織支援事業【危機管理室】
休止、廃止の方向で検討	<ul style="list-style-type: none"> ・風しんワクチン接種緊急助成事業【健康課】 ・農機具及び農機具庫管理事業【農林振興課】 ・森林保全管理事業【農林振興課】 ・その他児童館管理運営事業【生涯学習課】 ・名古屋教育集会所管理運営事業【生涯学習課】 ・あさもよし歴史館管理運営事業【生涯学習課】 ・郷土資料館等管理運営事業【生涯学習課】